

学術フォーラムの概要について(事後報告)

- 1 名称：日本学術会議主催学術フォーラム【格差社会における子ども子育て政策のこれから】
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：日本保育学会、日本教育学会、日本教育学関連学協会
- 3 開催日時：平成 25 年 7 月 7 日（日）13:00～16:40
- 4 開催場所：日本学術会議講堂
- 5 開催趣旨： 教育学分野「子ども子育て環境の質保証検討分科会」で2年間検討してきた、政策への提言たたき台案を紹介し一般の方々から意見をもらうとともに、人生早期からの格差の実態と政策のあり方を専門家から専門的知識提供をもらい議論をすることをねらいとする。人生早期からの経済格差、特に貧困格差に対する政策のあり方についての問題提起と対話のための企画である。
- 6 参加人数：15 名
講演者等：10 名
その他の参加者：226 名
- 7 特記事項
 - ① 事務方からのリピーターへの広報に加え、教育学関連学協会や保育関係団体へのアナウンスや ML での情報周知などが功を奏し、申し込みが当初から1週間でもかなりの人数となり、最終的には参加者が226名となり、国の行政関係者や遠隔地からの参加者もあり、テーマへの関心の高さがうかがえた。
 - ② パネルディスカッションは、様々な立場の参加者との質疑応答で非常に盛り上がり、残念ながら時間切れとなった。終了後にも、会場に残ってパネラー等と個人的に対話を行う参加者も多く、今後に向けて、関連テーマでのフォーラムの開催を望む声も多かった。